

元気いっぱい 友だちいっぱい  
すすんで学ぼう 夢をかなそう

横浜市立美しが丘小学校

令和4年9月30日



美小通信 6

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.vokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

## 防災の日に思うこと

校長 松瀬 歩

学校では地震・火災・不審者など様々な想定で毎月、避難訓練を行っています。9月5日に総合防災訓練を行いました。震度5以上の大地震発生、停電による放送機器使用不可、1名の行方不明者ありの想定で行いました。美小の子どもたちは教師の指示をしっかりと聞き、速やかに行動することができますが、避難訓練を行うといつも思い出すことがあります。

それは2011年3月11日、児童が在校中に発生した東日本大震災。震度5の地震が学校を襲ったとき、子どもたちは恐怖心を抱きながらも普段の避難訓練のように落ち着いて机の下に避難していました。地震がいったんやみ、校庭に避難したところで、再び大きな余震が襲ってきました。校舎が大きく揺れるさまを目の当たりにして、今まで必死に不安な気持ちを抑えていた子どもたちの緊張の糸が切れました。高学年の児童の中にも泣き出す子が出てきて、校庭は騒然としました。心配になった保護者が続々と学校に迎えに来て、近くの障害者施設で働く人たちが学校に避難してきました。すぐさま、児童引き取りを決定し保護者にメール配信しましたが、サーバーがパンクしているためかメールがなかなかつながりませんでした。その後、震源地は東北太平洋沖であり、太平洋岸に大きな被害が出ていることなど情報が入ってきました。横浜でさえ、このような状況なのに東北の子どもたちが感じている恐怖はいかほどのものかと心配になったことを思い出します。

実際に大災害が襲ったときには、訓練の想定を超えることがあります。子どもの前ではいつも笑顔でいるように心がけていますが、避難訓練のときだけは、きりっとした表情で厳しく、いつも子どもに伝えていることがあります。それは、

「訓練では本番のように 本番では訓練のように。」

「避難訓練の合格点は100点満点だけ。99点では不合格です。なぜなら、99点の避難訓練では、本当に災害が起こったときに美小全員の命を救うことができないからです。」

想定外のことが必ず起こることを想定して、非常時には全職員で子どもたちの命を守っていきたいと思います。